

2008 北勢町教育研究会 研修会

問題を抱える子どもたちの人権を守るために ~ Q-U調査の活用 ~

名城大学 曾山和彦

2008.5.28

Q-Uとは

ハイパー-Q-Uは、
ソーシャルスキル尺度が加わる

- 河村 (1994) により開発された診断尺度。
- 学級満足度尺度と学校生活意欲尺度、自由記述からなる。

教師が使える

利点

1. 短時間でできる
2. 気になる子どもを事前に発見できる
3. データ理解に専門性を必要としない
4. 視覚化されている

学級満足度尺度

(いごちのよいクラスにするためのアンケート)

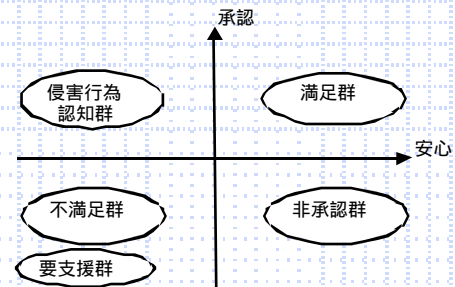
子どもの承認感、安心感を測定するために、
約300問から絞り込まれた質問項目により構成

小学校版
全12問 (承認6・安全6)

中学・高等学校版
全20問 (承認10・安全10)

承認感と安心感の高低の組み合わせにより、
結果は4群にプロットされる

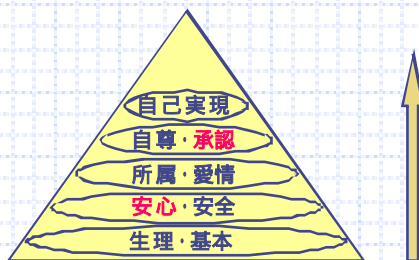
学級満足度尺度の理論的背景



マズローの欲求階層説を理論的背景に置く

マズローの欲求階層説

- 第一欲求 (生理・基本) が満たされると、第二欲求 (安心・安全) が生じ、これも充足されると第三欲求へ進む。上位欲求は下位欲求がたとえ部分的にせよ満たされて初めて発生する



4 群の特徴

満足群; 勉強、生活面で自ら動ける (1次支援)

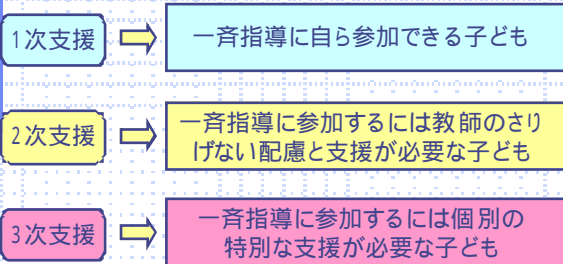
非承認群; 嫌なことは感じていないが、承認感がないため、意欲が落ちている (2次支援)

侵害行為認知群; 勉強、生活面での意欲はあるが、人間関係上のトラブルを抱える。被害者意識の強いケースもあり (2次支援)

不満足群; 承認・安心感が乏しく、多くは個別・緊急対応を要する (3次支援)

参考資料

子どもの必要とする支援レベル



学校生活意欲尺度

(やる気のあるクラスをつくるためのアンケート)

子どもの「友人関係」等に関する考え方、感じ方の測定のために絞り込まれた質問項目により構成

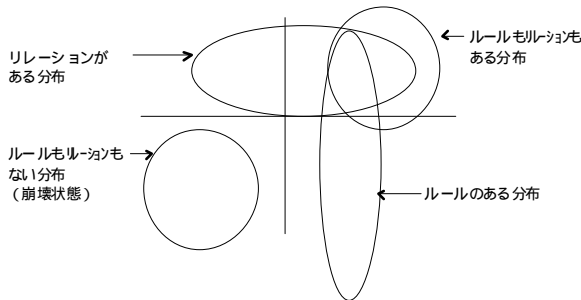
小学校版
全9問(友人関係3・学習意欲3・学級雰囲気3)

中学・高等学校版
全20問(友人関係4・学習意欲4・教師関係4・学級関係4・進路意識4)

「いごち」で大まかに、「やる気」で丁寧に把握

学級の状態把握

～ルールとリレーションのパターン分布～

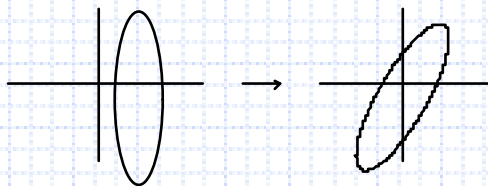


縦型・管理型学級の問題

一定のルールの下で集団活動がとれるが、教師の力による押さえつけでルールが守られている場合、そのルールは子どもの中に内在化していない。厳しい教師がいないところで、日頃の不満が噴き出す。教師の評価基準により、子どもが階層化されており、承認感の乏しい子どもは苦しい立場にいる。真ん中以下にいる子どもはあきらめの気持ちになる。

縦型・管理型からの崩壊プロセス

◆ルールがしっかりしているため、侵害行為を認知していないが、教師の評価基準により、承認感のある子どもとない子どもが階層化している。承認感のない子どもはやがて不満足群に流れる



承認感の低い子どもの人権を守る

◆とにかく言葉をかける；「1日10回は声をかけてほしい」(by夜回り先生)

<具体対応例>

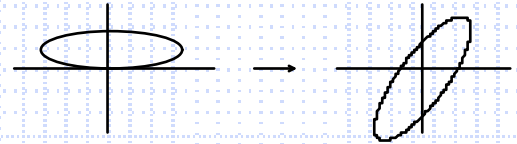
1. 名前を呼ぶ(演習;ネームゲーム)
2. 褒める・認める(演習;例外探し)
3. 勇気づける(ありがとう、うれしい、助かった)

横型・なれあい型学級の問題

教師が厳しくない分、学級の雰囲気はほんわかしている。小さな寺子屋風。授業中、「先生、これやっていい？」という声が飛び交い、自ら考える活動が乏しい。かかわり上のトラブルも多く、教師はその都度対応を求められる。小集団グループがたくさんあり、内部に閉じて「私たち仲間よね」という意識で動く。共通の敵を作ることによって団結が強まるため、グループ同士の仲が悪くなる。見えないいじめが進行していく。

横型・なれあい型からの崩壊プロセス

- 教師が穏やかで友だち感覚のかかわりをする学級。子どもたちは認められている感覚はあるが、ルール遵守が弱いので、いじめられ感をもつ子どももいる。その子たちはやがて不満層に流れる。



安心感の低い子どもの人権を守る

- ◆ 対人及び生活ルールを教える・考えさせる

< 具体対応例 >

1. ルールが「守れない」時を見逃さない
(対応; 対決アイメッセージ、確認の質問など)
2. ルールが「守れている」時を見逃さない
(対応; 認める、褒める、勇気づける)
3. ソーシャルスキル・トレーニング

ソーシャルスキル・トレーニング例

演習; 上手な頼み方
(状況; クレヨンや消しゴムを借りる)

- A お願いする
- B 理由をつけて一度断る
- A 再度お願いする (理由をクリアする代案で)
- B 了承する
- A ありがとう、助かった、等

* ペアで行う、アサーションロールプレイ

「やる気」得点アップ具体対応例

< 学習意欲アップ作戦 >

・授業内容理解に関連し、小グループでの話し合い、隣の人との丸付け、「自分なりの学習の仕方」紹介エクササイズなど

17

子どもの人権を守る 校内システム構築に向けて

・コーディネーターは不可欠。以下のように校内体制をコーディネート&リードする

- 1 年度当初の学級状態把握; 観察&Q-U
- 2 状態改善に向けた作戦会議 実践成果検証と次段階に向けた作戦会議
- 3 年度後半の学級状態把握; 観察&Q-U

必要に応じて、県教委、外部専門家等からのスーパーバイズを受ける